

空知町村議会議員研修会

長谷川 秀樹

開催地 雨竜町
開催日 7月9日

雨竜町において管内の議員が一同に会して研修会が開催された。

北海道大学大学院法学研究科教授の山口二郎氏を講師に招き「政権交代以降の地域主権と地方議会」と題し講演があった。

その中で今後は、地方分権（民主党は地域主権）が更に進み、国による関与、統制が排除され、財源も保障され地方の需要にそくした一括交付金制度が導入されることが予測される。その時、「地方議会は分権を受け止めることができるとか」と疑問を呈され、議会改革を図り、議会は元来話し合いの場であるから議論が重要であると結論づけた。

地方分権はともかく、今議会としての責務をしつかり果たす為には住民と十分に対話し、実態の確な把握、まちなかの将来、目指すところはどこなのかなど、議論を尽くし政

策形成を行う議会の実現に向け、研鑽を積む必要性を痛感した研修会だった。



▷講演する山口二郎氏

市町村議会議員政策講座（行財政基本コース）

青田 良一

研修期間 8月3日から6日
研修地 千葉県千葉市

8月3日から6日にかけて千葉県にある市町村職員中央

研修所（市町村アカデミー）で開催された「市町村議会議員政策講座」に受講した。元々は市町村職員のための研修施設であるが、時代の変化に対応し議員研修にも取り組みはじめている。研修内容として、座学（大学教授や現役官僚による講義）と演習（定められた課題の解決方をグループで討議し発表する）となっており、日中は講義、夜間は演習と緊張を強いられる研修であった。

国は議員内閣制（与党から総理大臣が選ばれる。国民は総理大臣を選べない）これに対して市町村は住民が直接首長や議員を選ぶことができる。これを二元代表制と言う。地方自治法を見ると市町村に「議会」を置くとの一項が首長選挙よりも先に記載されている。しかし、これまで

は国からの機関委任事務が多く、議会はその機能を發揮する機会が乏しかった。地方分権が進み自治事務の増加、財源や権限の移譲が進むと地方議会の役割はより重要となることはあきらかである。議員定数の削減、報酬の減額と地域住民からの批判（議会の閉

鎖性、不透明性と言ったもの）を跳ね返すべく、地方議会や議員の信頼回復に向かつて、全国いたるところで、議会改革や議員資質改善への取り組みが進んでいる。

図らずも議席を得た小生には、刺激的な研修であり、この研修を活かし、町の発展や議会活性化に努力したい。

用語解説

● 機関委任事務 ●
知事や市町村長を国の機関とし、上級行政庁としての指揮監督の下、国の事務を市町村などに委任して執行させる仕組み。



▷夜間のグループ演習

編集後記

春の天候不順から一転して暑い日の連続で、真夏日を9月上旬まであじわいました。好天で農作物が大豊作かと思われましたが、お米の量は多くないとか。何ごともほどほどでないためなんですね。

今のところ台風の影響はありませんが、8月24日のゲリラ豪雨では、本町でも、床下浸水、水稲の冠水、用水路や頭首工などが被害を受け、被害総額が約5、400万円と言われています。被害を受けた皆さんにお見舞い申し上げます。

今年が開町120周年で様々な行事を行ってきましたが、今年限りの町民運動会が雨で中止になったことは本当に残念でした。11月21日の「なんでも鑑定団」と「タイムカプセル」は、今年最後の記念事業です。期待しています。

【議会広報特別委員会】

委員長 西永 勝治

副委員長 樋坂 里子

委員 青田 良一

山田 秀明

笹木 正文

岩木 雅徳